

小学生プログラミング県大会 古山さん^(関ヶ原小5年)最優秀

全国選抜小学生プログラミング大会県大会の最終審査会が13日、岐阜新聞本社で開かれ、関ヶ原小学校5年の古山青葉さん(11)の「周期表を飛び出せ!遊んで学ぶ元素ゲーム」が最優秀賞に輝いた。来年3月に東京都で開かれる全国大会に出場する。



最優秀賞の古山青葉さん(中央)ら受賞者＝岐阜新聞本社

県大会は岐阜新聞社、岐阜放送主催、岐阜聖徳学園大DX推進センター共催。「みんなの mirai」をテーマに、プログラミング作品を募集し、理想の未来をつくるためのアイデアが詰まった作品が集まった。1次審査を通過した5作品が最終審査に臨んだ。



最優秀賞を獲得した古山さんの作品の一場面

審査会では、出場者がそれぞれの作品を堂々と発表した。古山さんは楽しく元素を学べるゲームを開発。すぐろくやしりとりなどを通じ、遊び感覚で学べるよう面白さを追求した。古山さんは「目標としていた最優秀賞が取れてうれしい」と話していた。

その他の受賞は次の皆さん。

▽岐阜聖徳学園大賞 T.S.R (古山立樹、殿岡祭花、岡島立)
▽岐阜新聞社賞 柳小プログラミング3人組(古田昊暉、濱口菜月、境澤治真)